

家園

第32号



特定非営利活動法人
 中国帰国者・日中友好の会
 〒110-0016 東京都台東区台東 3-35-7
 ペガサスミシンビル1階
 TEL：03-3835-9357 FAX：03-3835-9358
<http://jc-yuko.com/>

字体作者：周慧珺



「厚生労働大臣面談」2024.7.22

目次

★ 活動写真.....	2
★ 厚労大臣面談 報告	3
★ 総会報告.....	4
★ 中国残留邦人等の語り部.....	5
★ 有这样一群不懈感恩和令人感动的人.....	6
★ 心身の健康、幸せの老後.....	7
★ 活動記録・お知らせ・編集後記	

活動記録写真



2024 年新年会



周恩来前総理記念する周桜を鑑賞



楽器演奏 (華の春 2024)



中国舞踊 (華の春 2024)



太極拳教室の青木和平先生



東北亜戦略研究所首席研究員笈志剛ご一行

厚生労働大臣面談報告

「中国残留孤児」国家賠償訴訟弁護団 米倉洋子

今年7月22日(月)13時から、残留孤児の代表と厚労大臣の面談(15回目)を行いましたので、ご報告いたします。

出席者は、ここ数年の例にならい、全国からではなく首都圏の孤児4名(池田澄江・宇都宮孝良・過能国広・白山明徳と、安原・米倉でした。

大臣は、今年初めて、武見敬三氏でした。事務方からは、審議官、課長、支援室室長がテーブル席につき、他の支援室の職員たちも立って同席していました。中谷先生は、海外出張中でご欠席でした。

例年通り、安原先生が全員を紹介し、池田さんが本年度版の要望書(添付)を大臣に渡した後、米倉から要望書の内容をかいつまんで大臣に説明しました。今年の要望書は、昨年の予算削減の件があったので、6項の予算問題だけ大幅に書き換え、大臣にも、その問題を明をしました。武見大臣は、こちらへの下さいました(武見さんは医師なので、うに感じました)。こうしたやりとりがた大臣の挨拶はないまま、それでも20最後に写真撮影(添付)をして終了しま



武見大臣に要望書を渡す

談員(3名)と自立支援通訳(1名)の困難な現場の状況をぜひ厚労省に直接聞支援室側も了承してくれて、大臣面談終談に参加した前述の6名が、会議室で、長補佐・地域支援事業の担当者の3名と、大阪からは、事前に大阪の大臣宛ての(添付)、それに基づいて主に長山さんほどの困難が生じているか、勤務時間外ないが、それさえも限界であり、支援相談員の数が厚労省の基準どおりに減らされると本当に大変なことになると、切々と訴え、厚労省の方も真剣に聞いていました。なお大臣面談の数日前に安原先生に届いた高知の「要請書」も支援室に渡し、その内容にも触れながら、意見交換をしました。

昨年の予算大削減については、野田・中谷・弁護団の働きかけで、厚労省もがんばり、補正予選をつけ、今年度分の予算も減額されずに確保したと聞いていたのですが、実情は、驚くべきことに、高知ではいまだに昨年減額されたままの予算しか降りない、大阪も自立支援通訳を維持するのか精一杯で日本語教室などの交流事業がいまだにストップしたまままだということがわかりました。厚労省の方も、ショックを受けていたような感じでした。

翌日、厚労省から私に電話があり、高知については市と帰国者の方それぞれに実情を聞いてみる、大阪市には支援相談員を厚労省の基準通り機械的に減らさないよう話をしたい、との報告があり、各地域の実情を詳しく伝えることの重要性を痛感しました。

予算問題は、厚労省というよりも国の政策の問題なので、政権交代でもない限り、今後も厳しい状況が続くと思います。何とかそれを跳ね返していく努力は、これからますます必要になるだろうと思いました。大臣面談でこれほど切羽詰まった話をしたのも初めてでしたが、それだけに、毎年続けてきてよかったと思いました。大阪の4名の参加は、大阪での弁護団と帰国者の方々との緊密な交流と、久保井先生のきめ細やかなご配慮のおかげです。4名の支援相談員の方が訴えて頂いたことは、大阪だけでなく全国のために良かったと思います。

メインに、各地の実情も交えて説明質問も交えながら、熱心に聴いて医療支援通訳の話は特に響いたよあったため、今年最後の改まっ分の予定を10分ほど超過して、した。なお今年も、大阪の支援相談員4名(いずれも2世)が、大阪のいて欲しいと要望され、厚労省の了後、大阪の上記4名と、大臣面談中国残留邦人等支援室の室長・室長懇談の場を持つことができました。要望書を厚労省に送ってありが、孤児の高齢化に伴ってどれにボランティアで応じざるを得

NPO 法人中国帰国者・日中友好の会第16回定期総会開催

文：河村忠志 翻訳：祖父江安紀子

NPO 法人中国帰国者・日中友好の会の定期総会は、今年で第16回目となる。今回は、6月15日午後、本会B1活動室で開催された。2023年度事業報告、決算報告に続き、2024年度事業計画、活動予算についての報告がなされ、審議の結果当該議案は一致して通過した。

2023年度、新型コロナは5類へ移行されたが、従来通り厳しい予防措置を取りつつ、相談事業、各種教室活動、その他対外活動を行った。特に「日中平和友好条約締結45周年」をめぐる関連行事は、日中間の懸け橋としての本会の役割を最大限発揮し、積極的に民間交流活動を行った。大阪、京都等を訪問して行なった交流活動は、円満な成果を得、日中友好に更なる貢献をした。

2023年度は大きな成果を得た一方、問題も生じた。一番は収入の低下、特に寄付金の減少である。これが収支の不均衡をもたらし、初めて大きな赤字額を計上するに至った。長年にわたり本会は河合先生、弁護団の先生方、各界の力強いご支持に支えられ、一定の資金の貯えはあるものの、このようなかつてない赤字は大変危険なシグナルであり、重く受け止めなければならない。

2024年度も継続して相談事業、各種教室活動、その他対外活動を行っていく。9月～10月にかけては、山形、仙台を訪問し、交流活動を行い、また、中国駐日大使館の「チャイナフェスティバル」等に参加予定である。新たな財源を開拓し、支出を抑え、少しずつでもこの赤字を減くさらには解消してゆかなくてはならず、

二世の努力に期待するものである。

NPO 法人中国帰国者・日中友好の会毎年一次定期总会、今年第16次。本次总会已于6月15日下午在本会B1F活动室召开。大会听取了2023年度事业报告・活动决算、2024年度事业计划・活动预算的报告。经审议，大会一致通过了该项议案。

2023年度虽然新冠疫情已降到了5级，我们还是一如既往地采取严格措施，努力办好咨询事业和各类教室，开展好各项活动。特别是围绕“日中和平友好条约缔结45周年”这件大事，本会最大限度地发挥日中之间桥梁纽带作用，积极开展民间交流活动，组团赴大阪、京都等地交流，取得圆满的成果，为日中友好再作贡献。

2023年度本会虽然取得丰硕成果，但也存在一定的问题，主要是收入剧减，特别是寄付金减少的很多，造成收支不平衡，第一次出现这么大的亏损额度。多年来本会在河合先生、辩护团先生和社会各界的大力支援下，有一定的资金储备，但经不起这样的亏损下去，这是一个危险的信号，必须引起我们高度的重视。

2024年度要继续办好咨询事业，办好各类教室，开展好各项活动。如：9、10月份准备组团去山形、仙台开展交流活动，以及参加中国驻日大使馆的“·中国节”等活动。特别要注意开源节流，逐渐扭转亏损局面，力争少亏损，甚至不亏损。这方面希望二代作出努力。



ご挨拶している河合弘之先生

日本の民間団体「言論NPO」などが一昨年に行った、日中の共同世論調査では、中国に対する印象について、「良くない」、「どちらかといえば良くない」と答えた日本人は、90.9%と高止まりしています。

しかし、いくらいやだといっても、中国は日本にとって最大の貿易相手国で、引越することができず、地理的には今後も「隣人」であり続けます。今の局面はだれよりも心が痛めるのは残留孤児であります。

日中の戦争で人生を翻弄されてきた残留孤児だからこそ、「日中友好」という言葉には、スローガンではなく、責任と感じています。

今年で戦後79年、NPO 法人中国帰国者・日中友好の会の残留孤児会員の中の一番若い人も80歳になろうとしています。残された時間の中で、「日中友好」のために尽力すると同時に、次の世代へのバトンタッチを考えなければいけません。孤児たちの未完成の事業として、今後、日中両国が真の良い関係を結んでいけるように、2世の皆さんに自分たちの強みを生かして、頑張ってもらいたいです。

「中国残留邦人等の体験と労苦を伝える戦後世代の語り部」

講話会

文・写真：吉岡孝行

去る3月30日（土）13時30分より、首都圏中国残留帰国者支援・交流センター（台東区・以下「交流センター」）に於いて「戦争に向き合い、平和を考える～二つの祖国・中国人を養父母にもつ日本人女性が歩んだ50年～」と題する講話会で、NPO法人中国帰国者・日中友好の会の池田澄江理事長の歴史と体験を語り継ぐ「語り部講話」を開催させていただきました。当日は45名の参加があり、本会からも30名以上の会員の皆さんにお越しをいただきましたことを深く感謝申し上げます。

講話会は、中国・樺太（サハリン）帰国者の忘れ去られようとする歴史の記録を語り継ぐものです。講話者は、交流センターでの3年間の育成研修に参加して委嘱を受けた人で、現在、30代から70代まで（帰国者2世・3世も含む）13名が委嘱を受けています。自治体や学校、団体等からの依頼に応じて交流センターが全国に派遣しています（原則として旅費、謝金等の負担はありません）。

私の講話は、当会理事長の誕生から1歳の頃に養父母に預けられた状況、中国における生活と帰国後の暮らし、そして肉親との再会までの半世紀を、写真や図、新聞記事、挿し絵等を張り付けたスライド45枚とともに、約40分でお伝えするものです。今回は、イヤホンを使った中国語通訳がありました。終了後のアンケート（38枚）には「当事者本人の前で発表することの、意義、大きさ。なんとも言えない感動を覚えました（50代）」「戦争が残留邦人にもたらした苦痛がよくわかりました（70代）」「自身の記憶が思い出されました（80代）」「中学生の息子も連れてくればよかったです（40代）」「これからも日中の友好な関係が続いていくことを願っています（70代）」「今後も、このような講話を数多く、定期的に公開していただけることを希望します（70代）」など、たくさんのご意見・ご感想が寄せられました。

池田理事長には、語り部の原稿の作成や写真提供などで、全面的にご指導・ご協力をいただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。これからも中国帰国者の皆さんの歴史と体験をより多くの方に知っていただけるよう努めてまいります。どうか宜しくお願い申し上げます。



「講話会」の風景

来年は終戦80年の節目です。戦争の記憶が風化していく中、中国残留孤児も忘れられた存在になりつつあります。残留孤児の多くが満蒙開拓団の子弟で、その親たちは国策で大陸に渡り、不本意で侵略に加担してしまいました。戦時中、日本が「満州」あるいは中国で何をしていたか、中国残留邦人はどんな労苦をしていたかを次の世代に伝えていかなければなりません。そのために、もっと多くの方に「語り部」に参加していただきたい、と思います。

有这样一群不懈感恩和令人感动的人

黑龙江省社科院东北亚研究所研究员
东北亚战略研究院首席专家 笄志刚

算上今年5月14日陪同黑龙江省和吉林省社科院的两位院长一行访问NPO法人・中国归国者日中友好之会，笔者已经记不清究竟来过几次这里了。每次不管是领着研究所的人来，还是陪同院领导来，池田澄江理事长为首的各位都一如既往地热情接待，周到安排，组织交流座谈。每每现身说法到动情之处，既要咀嚼不堪回首的侵华战争导致的被遗华的那段痛苦经历，也让超越国界的中国养父母大爱的光芒更加熠熠生辉，更让残留孤儿这个特殊历史境遇下产生的人群日益成为中日友好的温情符号。

有幸与这些老人家相遇、相知和相望，缘于三种逐渐定格的情愫及不断放大的情怀。

一是，缘于历久弥新的“感动”。认识池田理事长等人是在她们组织遗华孤儿回国报恩演出和友好交流的时候，将被抛弃、被收养、被哺育等一波三折的复杂人生编成节目，将骨肉寻亲后定居日本的生活与向第二故乡报恩相链接，友好之会的活动策划、谢恩之旅、友好访问赢得了包括时任国家和省市领导人的赞赏，也催生了对她们不懈报恩的一次又一次的感动，这种感动之缘至今历久弥新。

二是，缘于挥之不去的“感佩”。这些在日本战败当年或为襁褓中的婴儿、或为幼小的孩童，缘于中国养父母的无私大爱，不仅有了新的去处，得到新的父爱母爱，找到自己的第二故乡，基础教育和生存本领也为她们归国后的在日生活奠定了较好的根基。令人感佩的是，针对日本政府对遗华孤儿的战争责任，池田理事长等孤儿组织起来发起维护权益的诉讼，并取得令人满意的结果，由此诞生的友好之会的亲和力、组织力和执行力令人感佩，这种感佩之缘迄今挥之不去。

三是，缘于不断叠加的“感谢”。缘于上述的感动和感佩，近十年以来，黑龙江省社科院东北亚研究所不仅积极参与她们访华期间组织的友好活动，实现了双方的签约合作。笔者还在她们相关的交流大会上致辞，我们社科院也组织过与她们的座谈交流活动，尤其是笔者曾多次带领国内访日团组到访友好之会，每次或座谈或餐叙，总是能感受到她们对中国的报恩情怀，对龙江发展的时刻关心，对我们学者的嘘寒问暖，由此也总是引发我们才下眉头却上心头的思念，这种感动永远在心中升腾。

每次离开位于东京都台东区的友好之会，回头看着一群耄耋老人在向我们挥手，心中就会涌上夹杂一丝酸楚的甜蜜，她们是多好的老人家！有这样一群不懈感恩和令人感动的人，真是民间交往之幸，中日友好之幸。

今年5月14日に黒竜江省・吉林省社会科学院の両学部長らとともにNPO法人中国帰国者・日中友好の会を訪問した。筆者は何度訪問したか覚えていない。研究所関係者と一緒に来て、引率して来て、毎回、池田澄江理事長をはじめ、NPOの皆さんが温かく迎え入れ、思慮深い手配をし、交流活動やディスカッションを企画してくれた。NPOの方々は感情を込めて語るたびに、中国への侵略戦争で取り残された辛い経験を振り返えながら、国境を越えた中国人養父母の愛をより輝かせた。特殊な歴史的環境で生きてこられた残留孤児たちは、中日友好のシンボルとなっている。

私がこれらの高齢者たちと出会い、お互いのことを深く理解しあったのは、培ってきた3つの感情のおかげだと思う。

まず、時間が経てばたつほど、「感動」をあたえられることです。私が池田理事長らと知り合ったきっかけは、中国孤児たちの「報恩の旅」の時行った公演や交流会に参加したことだ。彼らは棄民となつて、その後中国人に引き取られ、育てられた複雑な人生を劇にし、帰国後の大変な生活の中でも、中国への恩返しを忘れずにいた。NPOが企画したイベントは中国政府のリーダーを含め、沢山の方から賞賛された。第二の故郷への恩返しは今日まで続いている。このような感動的な事はいつまでも記憶に鮮明に残っている。

2つ目の理由は、彼らに対する深い「感銘」である。日本が敗戦した当時、彼らは幼児や幼い子供だったが、中国人の養父母の無私のおかげで、居場所ができ、親の愛を受け、第二の故郷を見つけた。また、彼らの受けた教育や培ったスキルは、日本に帰国した後生活の基盤を築くのに大変役立った。一番感心したのは日本政府の戦争責任に対し、池田会長ら孤児たちが権利を守るために訴訟を起し、成果が出たことだ。その闘った過程で培った経験は後の友好の会の親和性と組織力が生み出した。

3つ目の理由は、彼らの「感謝」の気持ちを表し続けること。上述の感動がゆえに、過去10年間、黒竜江省社会科学院東北アジア研究所は、日中友好の会の中国訪問中に開催された友好活動に積極的に参加しただけでなく、協力協定も締結した。また、私どもの社会科学アカデミーは、彼らとの対話や交流活動を企画し、中国国内代表団を結成して何度も友好の会を訪問している。会議の際は、彼らはいつも中国への感謝の気持ちを述べ、黒竜江省の発展に関心をよせている。そして私たちの学者の立場でも、例え彼らと会えない時もずっと気に留めている。

毎回、訪問が終わって、東京都台東区にある「日中友好の会」を出るとき、私たちに手を振ってくれた80代の方々を振り返るたびに、心の中にはほろ苦さと甘さが入り混じった感覚を覚えます。このようなたゆまぬ感謝と感銘をもたらす人々がいることは、中日間の草の根の交流と中日友好にとって本当に幸いなことです。

身心健康 晚年幸福

随着时间的推移，新冠病毒虽然还在，但是人们精神上紧绷着的弦终于放松了一些。再绷下去会把人绷垮了。人们像出笼的小鸟争相展翅。有回国探亲的，有各处旅行的，我也兴致勃勃地踏上了归国“猫冬”之旅。

空气清新，气候宜人，按说可以“乐不思蜀”。可是不知道是新冠有后遗症，还是这几年的管控隔离带来的精神压力太大，好像近来精神情感方面出现问题的人多了起来。人们太关注健康了，有食疗养生的、有运动健体的、有花大钱买保健品的、有不吃肉的也有不吃饭的……。可是有多少人关心心理健康呢？身心健康才是最重要的。

亲戚从工商局科长的位置退休，大嗓门，爱说爱笑，感觉有一点小事也能乐半天的那种，大家都说他是“话痨”。就这样一个人，有一天他突然不说话了，一天也不说一句话。开始家人以为他闹脾气，耍性子。后来觉得有点不对，到医院也没查出什么。渐渐地找不到自己的东西，出门后找不到家，最严重的一次走进山里好几个小时，报了警，动用了警车才把他找回来。刚七十出头，就步履蹒跚。家人也跟着忧心忡忡，每天两人大眼瞪小眼厮守着，抑郁、焦虑，整天哭天抹泪。本来挺好的，年龄也不算太大，收入也不低，应该自由自在，吃香喝辣的日子，弄得鸡飞狗跳。心疼但无能为力。

关心自己的身心健康，关心家人的身心健康。不仅是吃好穿暖，更重要的是身心愉悦。

还是我们现在的生活好啊！我们唱歌，我们跳舞，吹拉弹唱，我们打牌，我们聚餐，结队出游……。感谢河合律师为我们创造的好环境，感谢NPO把我们聚拢在一起。兄弟姐妹们嗨起来吧！我们健康的活着，知足的过着，开心的笑着，适当的忙着。

附益智游戏：

您看看下面两句话是一个意思吗？是说谁漂亮？

这件衣服你穿上真漂亮。

你穿上这件衣服真漂亮



健康な心身で幸せな老後を

文：孫蘭香

新型コロナウイルスはまだ存在しているが、時間が経つにつれ、人々が精神的な緊張からようやく少しずつ解放された。これ以上続くと、緊張の糸が切れてしまう。人々は籠から出た鳥のように羽を広げようと躍起になっている。親戚を訪ねるために帰省する人、あちこちに旅行する人、私も冬越しのために海南島に帰省した。

空気は新鮮だし、気候も気持ちいい。しかし、コロナの後遺症なのか、この数年の自粛がもたらした精神的重圧なのかわからないが、最近、精神的、感情的な問題を抱える人が増えているように思う。人々は健康を気にしすぎ、健康にいい食事ばかりを摂り、スポーツやフィットネスに熱中し、ヘルスケア製品に多くのお金を費やしている。しかし、精神的な健康についてどれだけの方が気にかけているだろうか？心の健康は体の健康と同様に重要なのだ。

私の親戚の一人は普段大声で話すのが大好きで、笑いの絶えない人だった、工商局的課長の地位から定年退職し、悠々自適な老後を送っているはずだった。そんな彼が、ある日突然しゃべらなくなり、一日一言もしゃべらなくなった。最初、彼の家族は、彼には不愉快なことがあったかと思った。その後、何かおかしいと思い、病院で検査を受けさせたが、何にも見つからなかった。だんだんと自分のものが見つからなくなり、外出しても家が見つからなくなり、最悪の時は数時間山に入って警察に届け、パトカーで探してもらった。彼はまだ70代前半なのに、足がひょろついている。奥さんも心配の余りで、すごく落ち込み、不安になり、ひどい時は一日中泣いている。もともとそんなに高齢ではなかったし、収入もあるのにこんな混乱状態に陥ってしまった。私は心を痛めているが、何もできない。

自分と家族の心身の健康に気を配るには、食事や服装だけでなく、もっと大事なものは精神的な喜びである。

NPO法人中国帰国者・日中友好の会は私達に心の寄り所を提供していただいたおかげで、私たちの精神生活はより良くなった！仲間と一緒に歌ったり、踊ったり、チームで出かけたりして、ストレスの発散になり、精神的な健康につながる。

おまけにクイズを一つ：

次の2つの文章は同じ意味だとわかりますか？誰がきれいだと言っていますか？

このドレスはあなたに似合っていて美しい。

このドレスを着たあなたが美しい。

認定NPO法人「中国帰国者・日中友好の会」活動記録（令和6年1月～令和6年7月）

1月30日	池田大作先生の告別式に本会池田理事長、宇都宮副理事長が参列
2月24日	板橋グリーンホールで新年会を開催
3月28日	上野公園でお花見会を行った
3月30日	交流センターの語り部会に池田等30人が参加、本会理事吉岡孝行が講師に勤めた
4月13日	「華の春国際交流フェスティバル2024」に、楽器教室と舞踊教室が出演
4月28日	「愛知こどもの幸せと平和を願う合唱団」が製作したミュージカルを池田等50人が鑑賞した
5月14日	黒竜江省社会科学院、吉林省社会科学院から6人来訪
7月17日	創価学会長谷川理事長ご一行来訪
7月22日	厚労大臣面会

お知らせ

★ チャイナフェスティバル2024

ステージ出演

時間：9月8日11:20～11:40

場所：代々木公園野外ステージ

★ 新年会

時間：2025・2・23

場所：北とびあ飛鳥ホール

无题

莫道天凉好个秋 秋来伤怀却无由
 清风虽进千家窗 乌云平添几缕愁
 惆怅非关浊酒事 纠结不为柴米谋
 世间蹉跎人亦老 长夜总还思悠悠

編集委員

白山 明德

河村 忠志

張 狄

孙 妮

春 晓

祖父江 安紀子

写真撮影 二田口国博 入澤美和子 石金楷

レイアウト

松本莉恵

♪会報のバック・ナンバーお読みになれます♪



よろず相談窓口：平日10:30～16:00 日本語・中国語対応

TEL:03-3835-9357 FAX:03-3835-9358